

**2018年3月期
決算説明資料**

**2018年4月27日
信越化学工業株式会社**

ShinEtsu



目次

● 業績の概要	P 1
● 決算の主要項目	P 2
● セグメント別	売上高と営業利益	P 3
	売上高と営業利益（構成比）	P 4
	設備投資額と減価償却額	P 5
● 各セグメントの概況		
	塩ビ・化成品事業	P 6
	シリコン事業	P 8
	機能性化学品事業	P 10
	半導体シリコン事業	P 12
	電子・機能材料事業	P 14
	加工・商事・技術サービス事業	P 16
● セグメント別	売上高の推移	P 17
	営業利益の推移	P 18
● 連結財務諸表	比較損益計算書	P 19
	比較貸借対照表	P 20
	比較キャッシュ・フロー計算書	P 21
● 配当金の推移	P 22
● 参考データ		
	1) 平均為替レートの推移	P 23
	2) 市場別売上高	P 24
	3) セグメント別資産	P 24
	4) 米国住宅着工件数	P 25
	5) 国産基準ナフサ価格推移	P 26
	6) シリコンウエハーの口径別業界統計資料	P 27
	7) トピックス	P 28
	8) (最近の) 主な設備投資 (外部公表ベース)	P 29



業績の概要

(億円)

	連 結		
	2017年3月期	2018年3月期	増 減
売 上 高	12,374	14,414	(16.5%) 2,040
営 業 利 益	2,386	3,368	(41.2%) 982
経 常 利 益	2,421	3,403	(40.5%) 982
親会社株主に帰属する純利益	1,759	※ 2,662	(51.3%) 903
R O I C (注)	14.0%	18.2%	4.2ポイント
R O E (注)	8.5%	11.9%	3.4ポイント
R O A (注)	9.4%	12.2%	2.8ポイント
1株当たり			
純 利 益	413円	※ 624円	211円
年 間 配 当 金	120円	(予定) 140円	20円

※ 米国税制改正による繰延税金資産・負債取崩の影響
 親会社株主に帰属する純利益 298億円の増加
 1株当たり純利益 70円/株の増加

(注) ROIC (投下資本利益率) = $\frac{\text{税引後営業利益} (*)}{\text{純資産} + \text{有利子負債} - \text{手持資金}}$

(*) 税引後営業利益は、上記 ※の影響額を除いて算出。

ROEは自己資本純利益率、ROAは総資産経常利益率。



決算の主要項目

(億円)

	連 結	
	2017年 3月期	2018年 3月期
純 資 産	21,900	24,130
総 資 産	26,556	29,083
1株当たり純資産	5,002円	5,512円
設 備 投 資 額	1,456	1,762
減 価 償 却 額	930	1,120
研 究 費	490	517
有 利 子 負 債 残 高	143	155
期 末 従 業 員 数	19,206人	20,155人
為替レート : 1-12月平均 (注)	108.8円	112.2円
(US\$) 4-3月平均	108.4円	110.9円

(注) 1-12月平均の為替レートは、海外子会社の損益を連結する際に使用しました。
為替レートの推移は、P23参考データ「平均為替レートの推移」に記載しております。

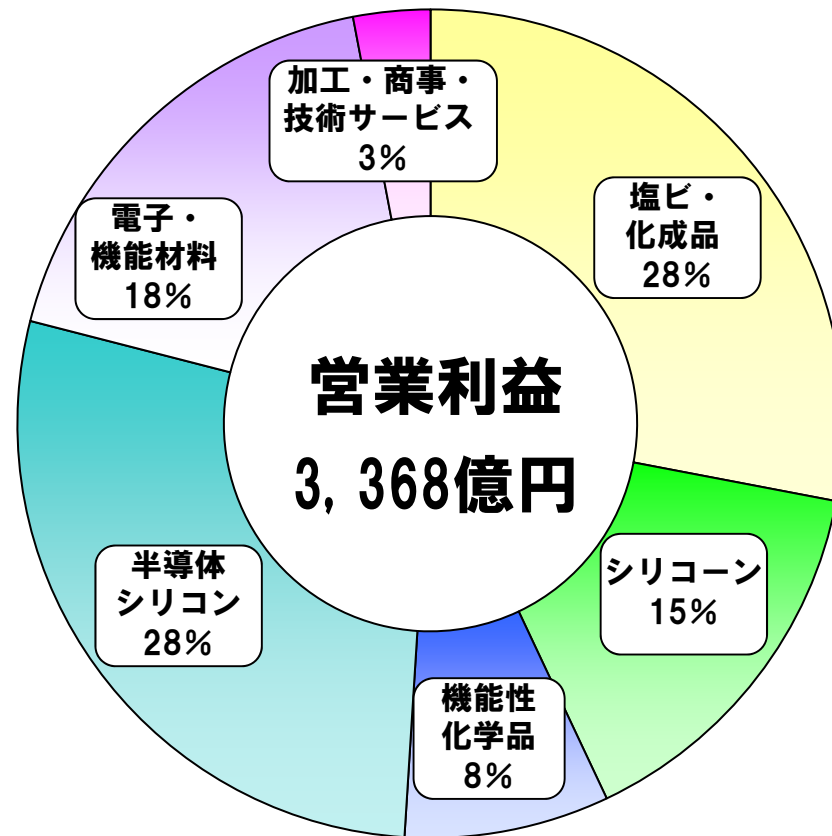
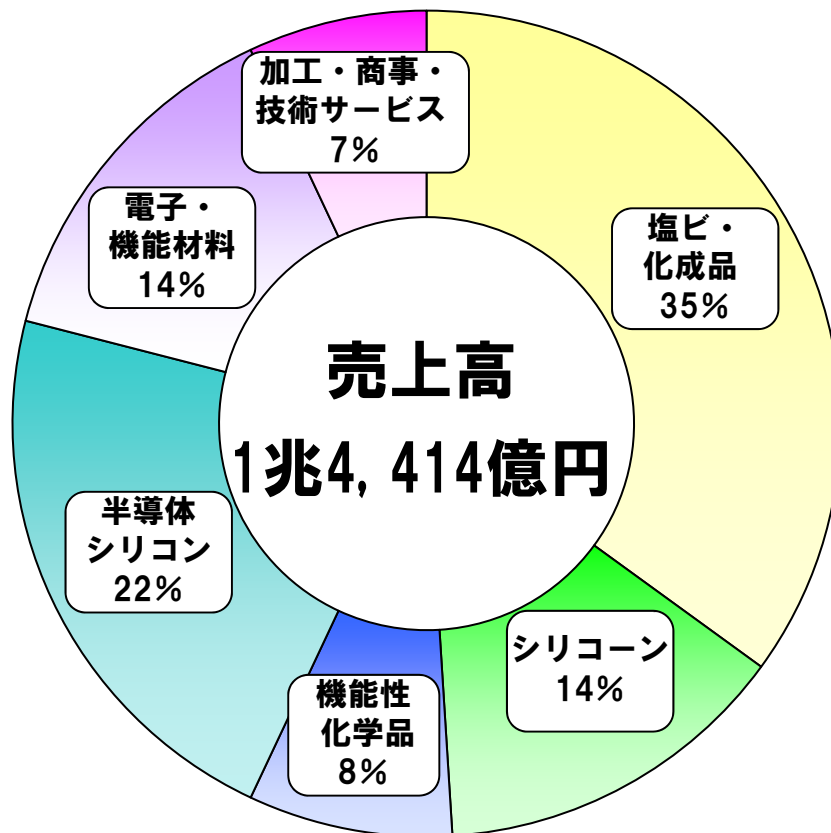
● ● ● | セグメント別売上高と営業利益

(億円)

	売上高			営業利益		
	2017年 3月期	2018年 3月期	増減	2017年 3月期	2018年 3月期	増減
塩ビ・化成品	4,116	5,013	(21.8%) 897	531	932	(75.3%) 401
シリコン	1,792	2,062	(15.1%) 270	425	519	(22.1%) 94
機能性化学品	1,080	1,171	(8.5%) 91	222	257	(15.7%) 35
半導体シリコン	2,526	3,083	(22.1%) 557	559	929	(66.0%) 370
電子・機能材料	1,879	2,074	(10.4%) 195	552	616	(11.6%) 64
加工・商事・ 技術サービス	979	1,007	(2.9%) 28	95	114	(19.8%) 19
合計	12,374	14,414	(16.5%) 2,040	2,386	3,368	(41.2%) 982

● ● ● | セグメント別売上高と営業利益（構成比）

2018年3月期



● ● ● | セグメント別設備投資額と減価償却額

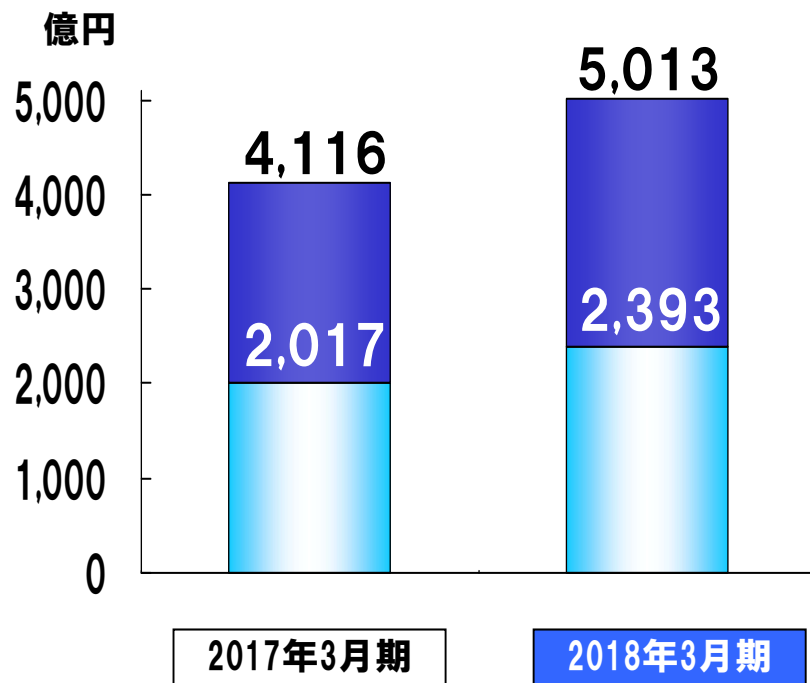
(億円)

	2017年 3月期	2018年 3月期
設備投資額	1,456	1,762
塩ビ・化成製品	572	636
シリコン	231	291
機能性化学品	78	70
半導体シリコン	149	515
電子・機能材料	381	202
加工・商事・技術サービス	44	50
減価償却額	930	1,120
塩ビ・化成製品	302	329
シリコン	115	122
機能性化学品	96	101
半導体シリコン	207	324
電子・機能材料	172	201
加工・商事・技術サービス	39	43

● ● ● | 塩ビ・化成品事業

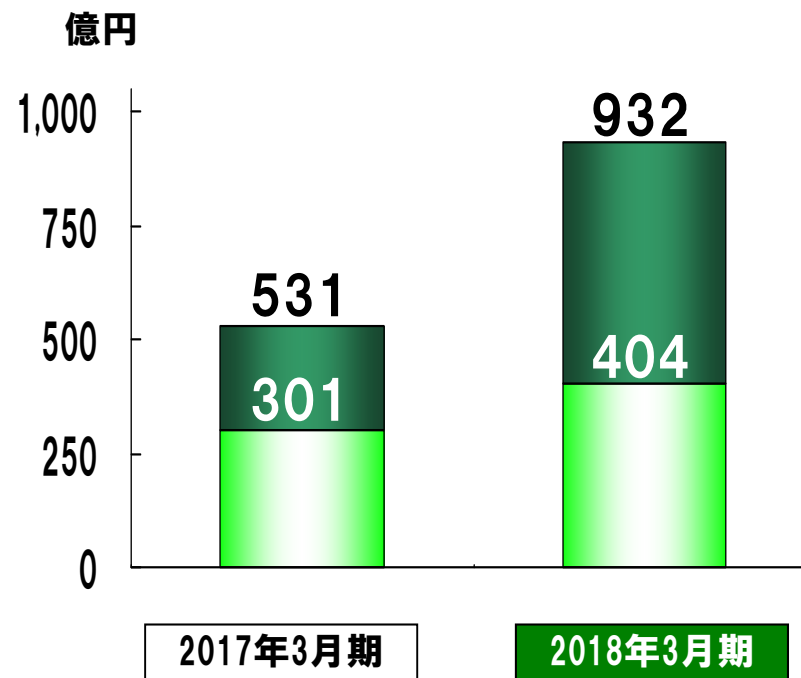
売上高（億円）

■ 年間売上高
■ 上半期売上高



営業利益（億円）

■ 年間営業利益
■ 上半期営業利益



- 塩ビ・化成品は、米国のシンテック社がフル操業を継続する一方、塩化ビニルに加えてか性ソーダも需給関係の改善が進み、業績を大きく伸長させました。
- 日本と欧州の拠点でも同様に業績を上げました。
- シンテック社を中心に、拠点地域と全世界で綿密に売上を増やしたことが、増益に寄与しました。

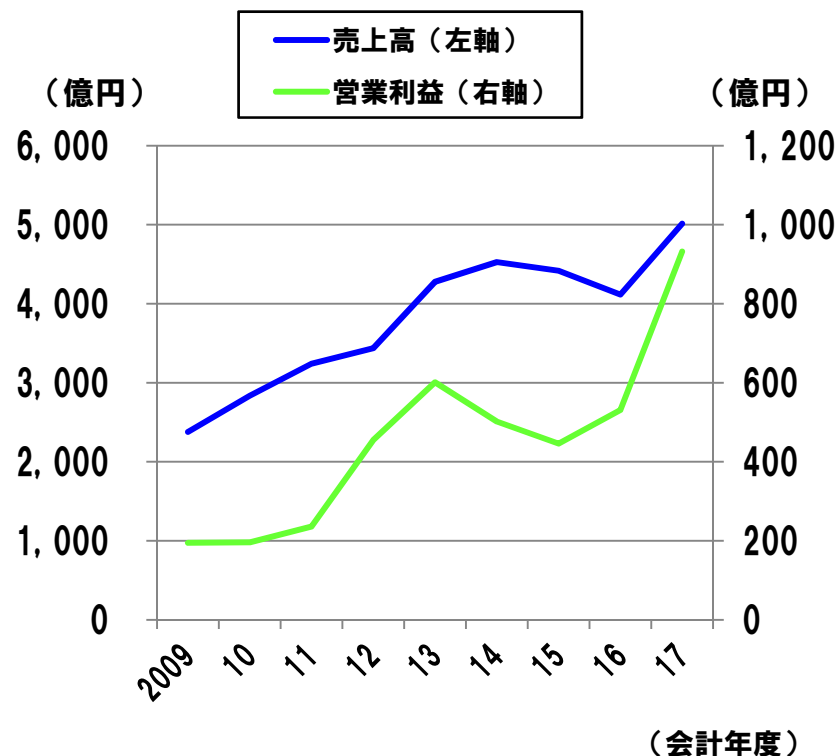
● ● ● | 塩ビ・化成品事業

◆塩ビはインフラ建設・整備で選好される最適素材であり、他の用途も含め、今後も需要は伸びると考えられます。世界の需要は、概ねGDPの成長に沿って伸長すると期待されます。か性ソーダの世界需要も、GDPの成長率よりやや低めですが、やはりGDPの成長に沿って伸びると見込まれます。一方、供給面は、大きな供給力を持っている中国では環境規制の影響により生産が制限されるなど、世界的な生産能力の増加はこれまでのところ限定的です。

◆当社グループは、塩ビの生産能力計415万ト/年とか性ソーダの生産能力計166万ト/年です。これらをフルに活用して、シンテックを中心とする米・欧・日の3拠点から、各拠点地域及び全世界で販売を展開しています。それを支えるのが、規模の経済、米国原燃料の相対的優位性、品質の信頼性、きめ細かな販売と流通・出荷網です。

なお、建設中の米国エチレン工場（50万ト/年）は2018年末に完成予定です。

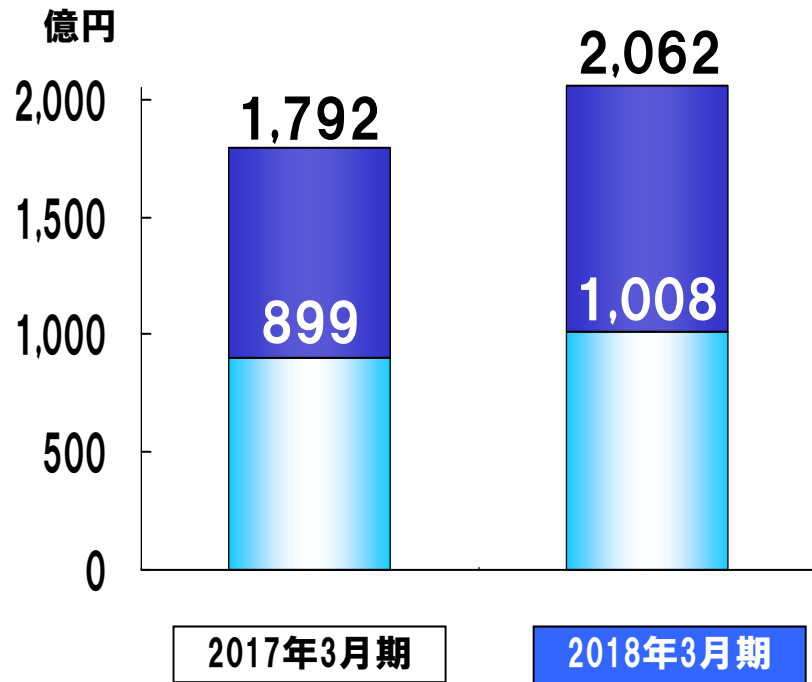
売上高と営業利益の推移



● ● ● | シリコーン事業

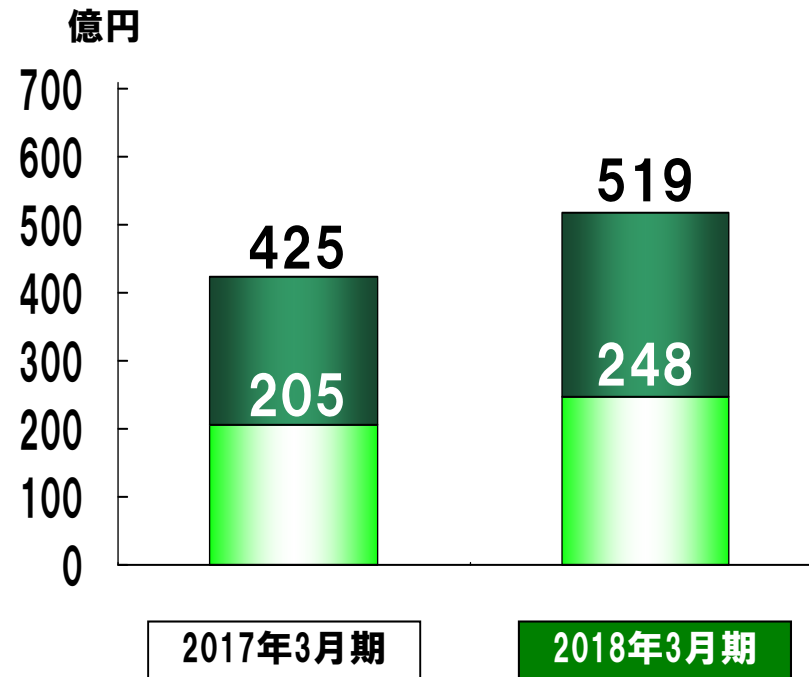
売上高 (億円)

■ 年間売上高
■ 上半期売上高



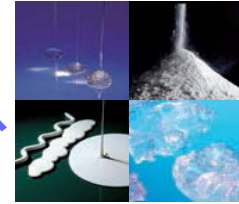
営業利益 (億円)

■ 年間営業利益
■ 上半期営業利益



- シリコーンは、全分野・用途で需要が伸び、機能製品に加え、汎用製品も全世界で拡販した結果、業績を伸長させました。

● ● ● | シリコーン事業



◆シリコーン事業では、約5,000品目にわたる多種多様の製品を擁し、常時新製品を繰り出しています。

シリコーン製品は、機能性の高いものと、汎用性の高いものに大きく分けることができ、2018年3月期における売上高の割合は概ね前者が70%、後者が30%でした。この両分野をバランスよく伸ばしていきます。

◆当社は国連グローバル・コンパクト外に参画しており、環境対策に大きな関心を払っています。

シリコーン製品は、温室効果ガス削減効果のある分野（下記）に幅広く使用されています。欧州、北米、日本の3地域で用いられるシリコーン製品の製造、使用そして廃棄のひとサイクルから排出される温室効果ガスの量を1とすると、シリコーンを使用することによる排出削減量は9となり、結果として9倍もの排出削減効果が生み出されます。

出典：シリコーン工業会「シリコーンのカーボンバランス」

【シリコーン製品における温室効果ガス削減効果のある分野と主な用途】

自動車	ソーラーエネルギー	
<ul style="list-style-type: none"> ●自動車エンジン回り用エラストマー ●低燃費タイヤ ●自動車接着剤 ●車両排気管用コーティング材 	<ul style="list-style-type: none"> ●太陽電池用グレードシリコン用クロロシラン 	
	その他	
<th>建築</th> <td></td>	建築	
<ul style="list-style-type: none"> ●複層ガラス窓ユニット用シーラント ●構造接着用シーラント ●石造物撥水剤 - レンガ用、コンクリート用 ●建築物断熱材用ポリウレタン添加剤 	<ul style="list-style-type: none"> ●紙製造用、洗剤用消泡剤 ●電気製品断熱材用ポリウレタン添加剤 ●ガラス繊維処理用シラン ●船底塗料 	

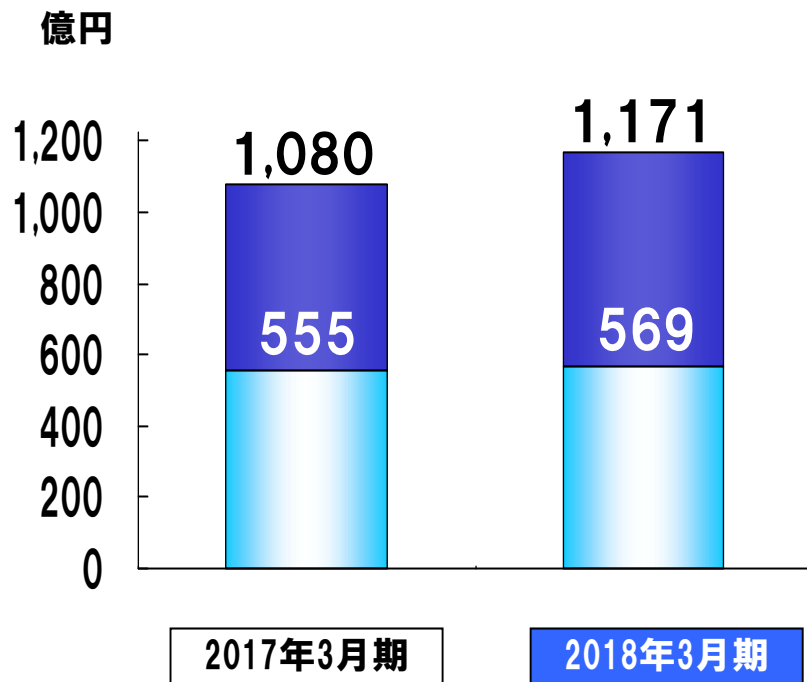
今後こうした用途でも、顧客に求められる製品開発に注力していきます。



機能性化学品事業

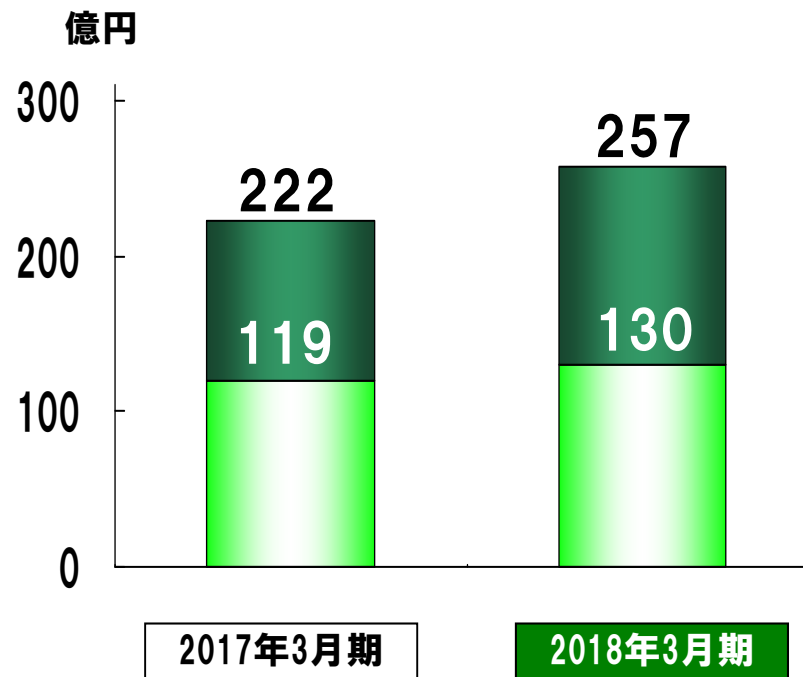
売上高（億円）

■ 年間売上高
■ 上半期売上高



営業利益（億円）

■ 年間営業利益
■ 上半期営業利益



- セルロース誘導体は、医薬用製品、建材用製品及び塗料用製品が底堅く推移し、フェロモン製品やポバール製品ほかも総じて堅調な仕上がりとなりました。

● ● ● | 機能性化学品事業

◆当セグメントは、生活、インフラ、産業分野にさまざまな製品を提供しています。

分野別・製品グループ別の売上構成比（2018年3月期）

	生活 (医薬・食品・農業ほか)	インフラ (建材・土木・塗料ほか)	産業 (接着・車載・原料ほか)
セルロース	25%	60%	15%
フェロモン	100	0	0
ポパール	35	0	65
塩ビ・酢ビ共重合樹脂 (ソルバイン®)	0	90	10
金属ケイ素	0	30	70
計	30	40	30



セルロース添加の錠剤



フェロモン製剤



ポパール



塩ビ/酢ビ共重合樹脂
添加のインキ



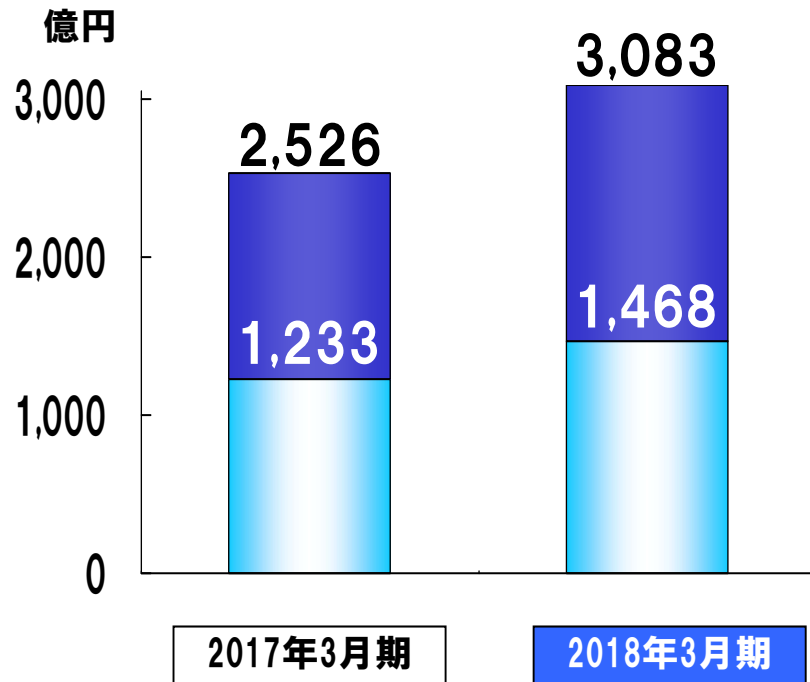
金属ケイ素

今後とも、各分野でお役に立てるよう、製品開発・供給対応していきます。

● ● ● | 半導体シリコン事業

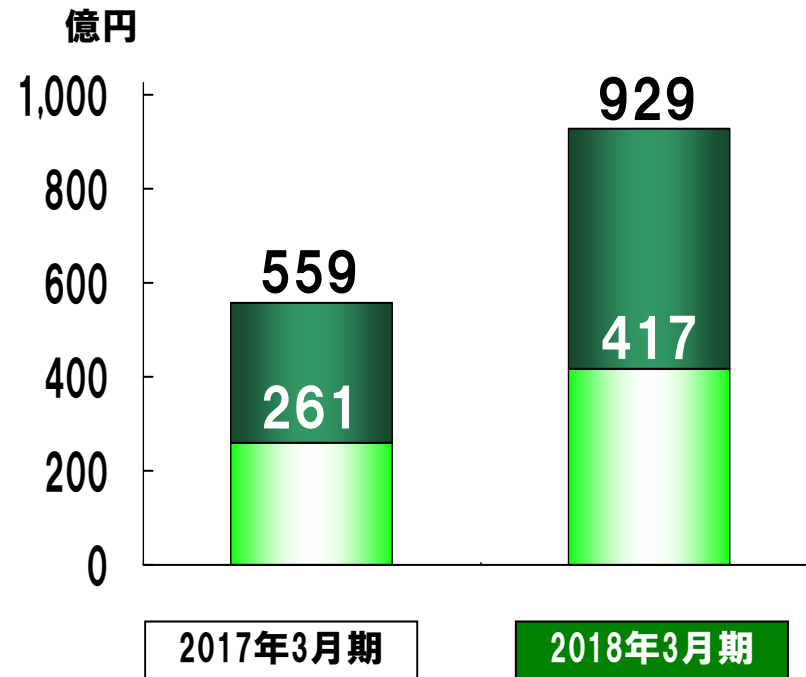
売上高（億円）

■ 年間売上高
■ 上半期売上高



営業利益（億円）

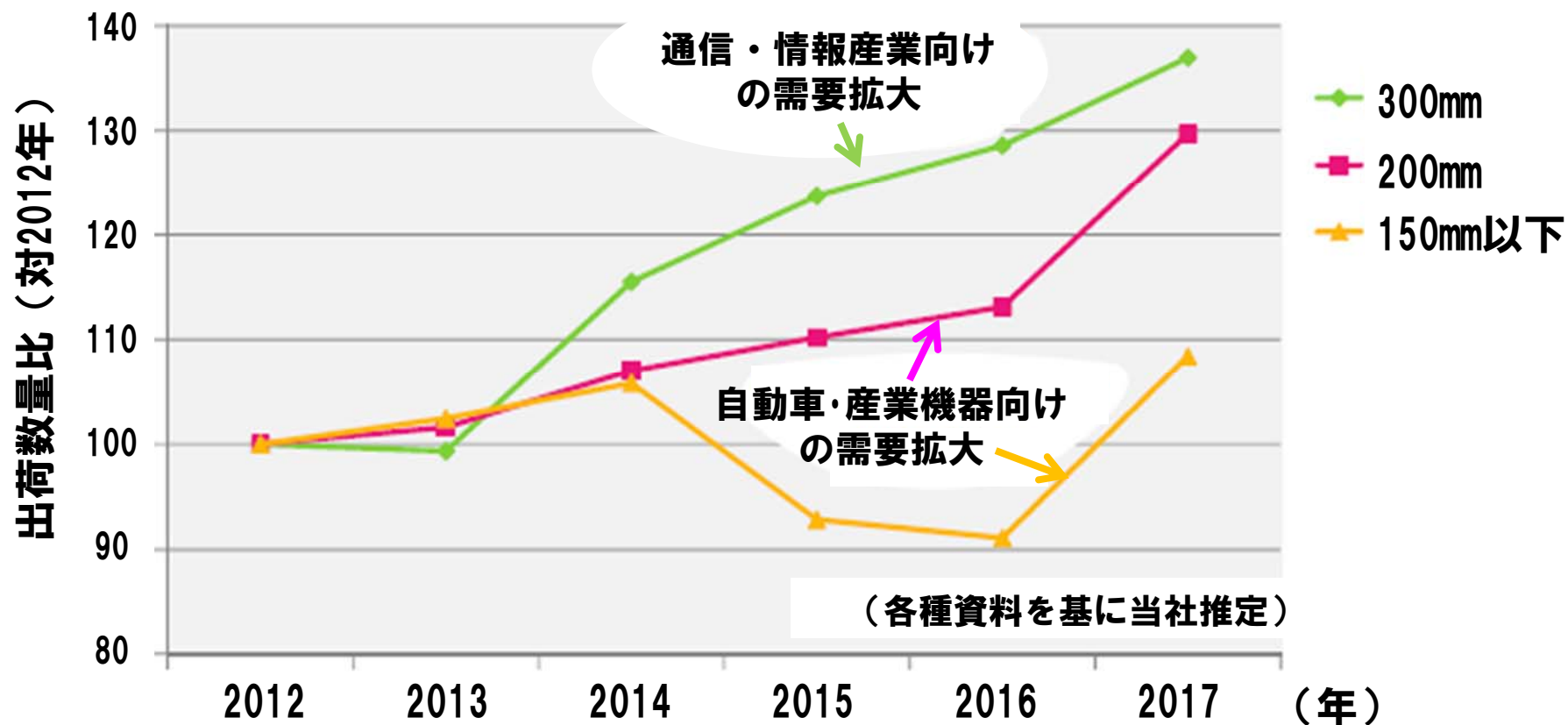
■ 年間営業利益
■ 上半期営業利益



- 半導体シリコンは、旺盛な半導体デバイス需要にけん引され、300mmをはじめとする全ての口径のウエハーで高水準な需要に対応するとともに、製品価格の修正を行ったことで、業績を大きく伸長させました。

● ● ● | 半導体シリコン事業

世界のシリコンウエハー出荷数量推移（2012年の数量を100とした場合）

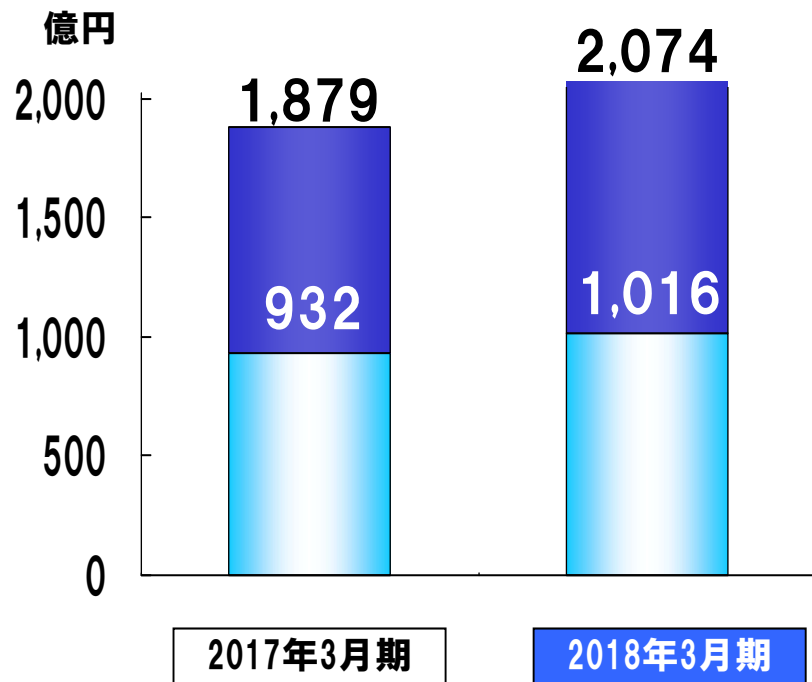


300mm：NANDとロジック向けへの投入増で、2014年以降はほぼ直線的に伸び、5年で4割弱増加。
 200mm：2016年までは緩やかな増加が続きましたが、2017年は自動車や産業向けが伸長し、大幅に増加。
 150mm以下：長期的には漸減傾向ですが、2017年は200mmのひっ迫もあり150mm以下も増加に転じました。

● ● ● | 電子・機能材料事業

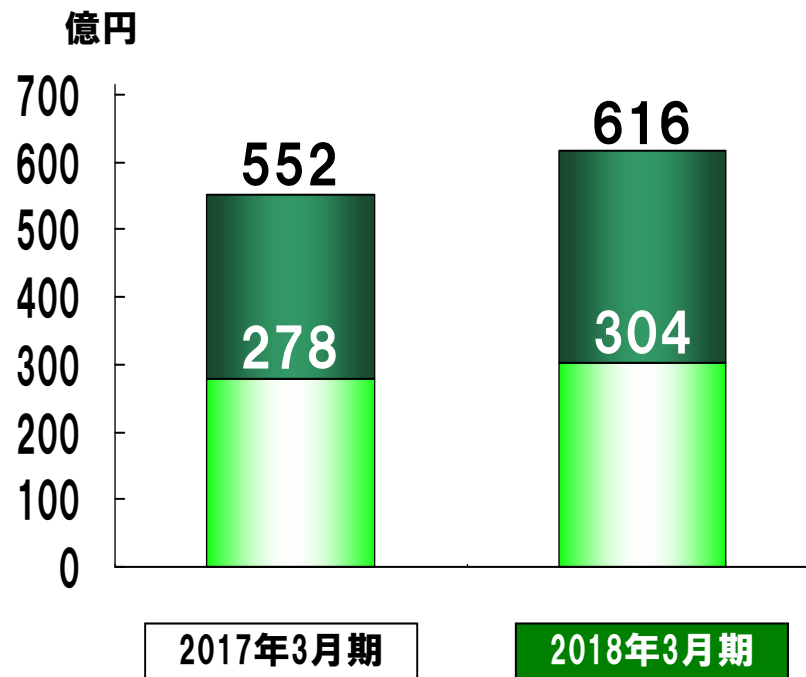
売上高（億円）

■ 年間売上高
■ 上半期売上高



営業利益（億円）

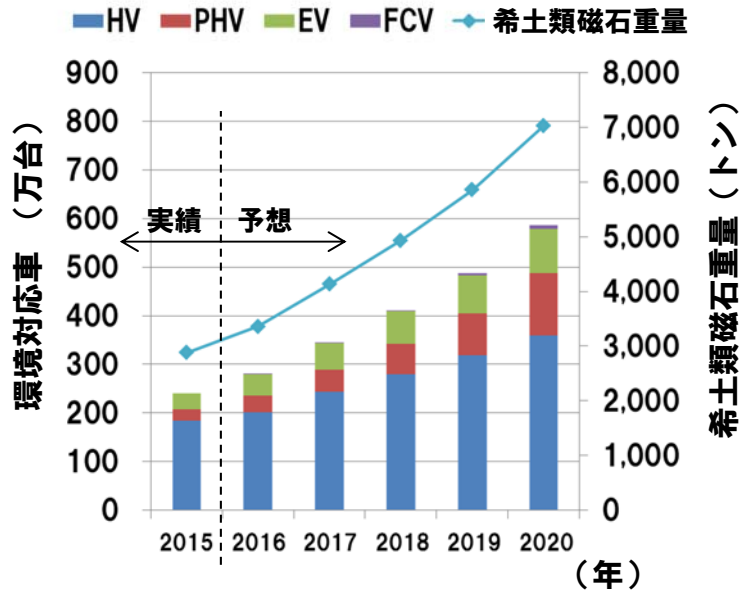
■ 年間営業利益
■ 上半期営業利益



- 希土類磁石は、ハイブリッド車をはじめとする自動車向けや産業機器向けが好調な出荷を継続し、売上を伸ばしました。
- フォトレジスト製品は、KrFレジスト、ArFレジスト及び多層レジスト材料のいずれも堅調に推移し、また、マスクブランクも伸ばしました。
- 光ファイバー用プリフォームは、世界的な需要増を取り込むとともに、中国での新しい合弁会社の生産も期後半より寄与し、販売を伸ばしました。
- LED用パッケージ材料も堅調な出荷となりました。

● ● ● | 電子・機能材料事業

環境対応車の世界生産台数と希土類磁石需要



各種環境対応車の駆動用、発電機用モータに使用される磁石の伸びは年率20%。この伸びを確実に取り込んでいきます。

環境対応車データ：富士キメラ総研「2016ワールドワイド自動車部品マーケティング便覧」
希土類磁石重量データ：当社推定

【半導体関連材料】 半導体デバイス材料のスーパープロバイダーとして市場に貢献

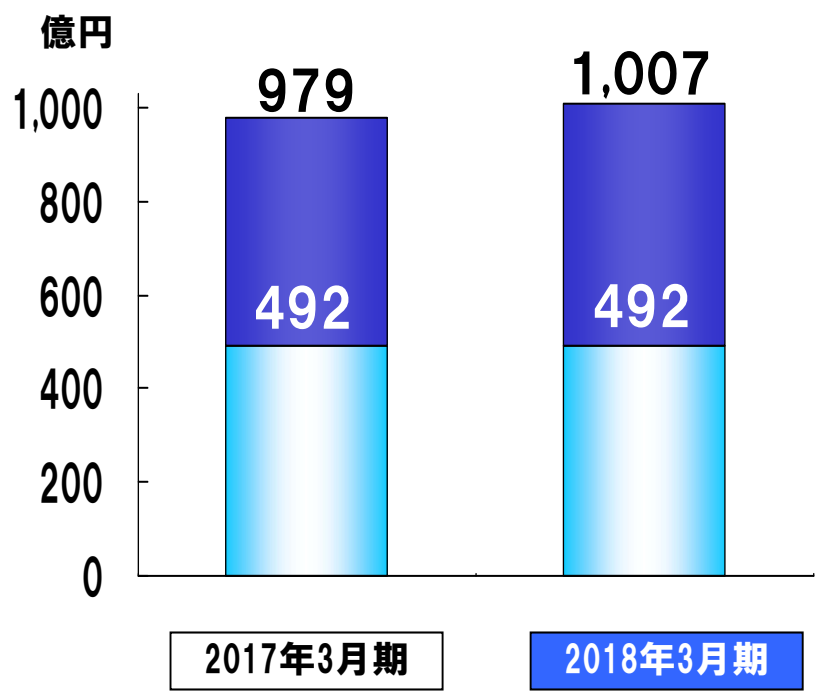
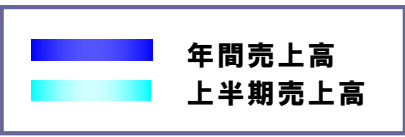
半導体プロセス

取扱製品 (写真)

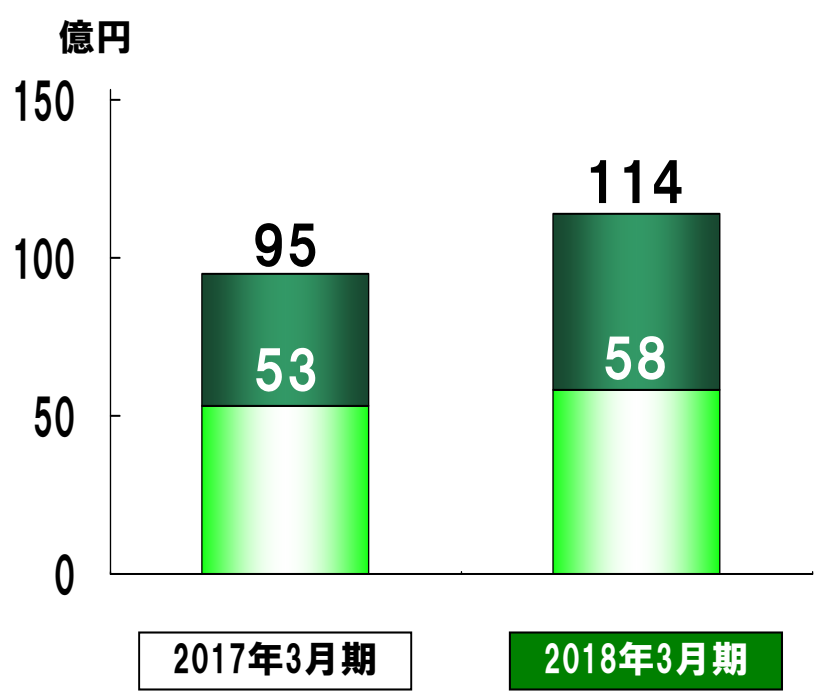
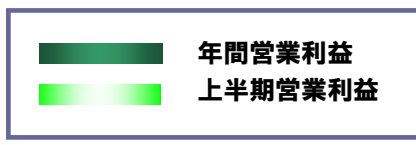


● ● ● | 加工・商事・技術サービス事業

売上高（億円）



営業利益（億円）



- 信越ポリマー社の自動車用入カデバイスや半導体ウエハー関連容器が、好調に推移しました。

● ● ● | セグメント別売上高の推移

[売上高]

(億円)

	2017年3月期					2018年3月期				
	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	年間計	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	年間計
塩ビ・化成品	939	1,078	1,064	1,034	4,116	1,135	1,257	1,256	1,363	5,013
シリコン	454	445	434	458	1,792	499	509	521	532	2,062
機能性化学品	285	270	264	260	1,080	283	286	312	289	1,171
半導体シリコン	625	607	627	664	2,526	714	753	786	828	3,083
電子・機能材料	469	463	456	490	1,879	491	524	525	532	2,074
加工・商事・ 技術サービス	234	258	244	242	979	237	255	258	256	1,007
合 計	3,007	3,123	3,092	3,151	12,374	3,362	3,586	3,661	3,803	14,414

● ● ● | セグメント別営業利益の推移

[営業利益]

(億円)

	2017年3月期					2018年3月期				
	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	年間計	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	年間計
塩ビ・化成品	132	169	141	88	531	176	228	247	280	932
シリコン	102	103	110	109	425	121	127	135	135	519
機能性化学品	63	56	49	52	222	65	65	63	63	257
半導体シリコン	136	124	133	164	559	197	219	245	267	929
電子・機能材料	140	138	135	138	552	150	153	153	158	616
加工・商事・ 技術サービス	26	26	20	22	95	28	29	25	31	114
合 計	600	620	590	575	2,386	741	821	870	934	3,368

● ● ● | 比較損益計算書（連結）

（億円）

	2017年度 3月期	2018年度 3月期	増減
売上高	12,374	14,414	(16.5%) 2,040
売上原価	8,684	9,630	946
販売費・一般管理費	1,303	1,416	113
営業利益	2,386	3,368	(41.2%) 982
営業外損益	35	34	△ 1
経常利益	2,421	3,403	(40.5%) 982
税金等調整前純利益	2,421	3,403	(40.5%) 982
法人税・住民税・事業税	638	※ 702	64
非支配株主に帰属する純利益	23	38	15
親会社株主に帰属する純利益	1,759	※ 2,662	(51.3%) 903

※米国税制改正による繰延税金資産・負債の取崩額 298億円（益）が含まれております。

比較貸借対照表（連結）

（億円）

	2017年 3月末	2018年 3月末	前期末比		2017年 3月末	2018年 3月末	前期末比
流動資産	15,496	17,393	1,897	流動負債	3,170	3,827	657
現金・預金	7,526	8,545	1,019	支払手形 買掛金	1,238	1,368	130
受取手形 売掛金	2,878	3,328	450	短期借入金	127	70	△57
有価証券	1,865	1,973	108	未払法人税等	327	589	262
たな卸資産	2,671	2,820	149	その他	1,476	1,798	322
繰延税金資産	359	364	5				
その他	193	361	168	固定負債	1,485	1,125	△360
固定資産	11,060	11,689	629	長期借入金	15	84	69
有形固定資産	8,465	8,997	532	繰延税金負債	982	623	△359
機械装置 運搬具	4,377	4,548	171	その他	487	417	△70
その他	4,087	4,448	361	負債合計	4,655	4,953	298
無形固定資産	102	94	△8	株主資本	20,756	22,899	2,143
投資その他の資産	2,492	2,598	106	その他の包括 利益累計額	571	613	42
投資有価証券	1,353	1,454	101	新株予約権 非支配株主持分	572	617	45
その他	1,139	1,143	4	純資産合計	21,900	24,130	2,230
資産合計	26,556	29,083	2,527	負債・純資産 合計	26,556	29,083	2,527

（ご参考）貸借対照表 前期末比増減の内訳

（億円）

	2017年 3月末	2018年 3月末	前期末比	内訳			2017年 3月末	2018年 3月末	前期末比	内訳	
				海外子会社 換算レート差 による影響	実質増減					海外子会社 換算レート差 による影響	実質増減
流動資産	15,496	17,393	1,897	60	1,837	流動負債	3,170	3,827	657	12	645
現金・預金	7,526	8,545	1,019	18	1,001	支払手形 掛金	1,238	1,368	130	2	128
受取手形 掛金	2,878	3,328	450	23	427	短期借入金	127	70	△57	0	△57
有価証券	1,865	1,973	108	0	108	未払法人税等	327	589	262	4	258
たな卸資産	2,671	2,820	149	18	131	その他	1,476	1,798	322	6	316
その他	553	725	172	1	171	固定負債	1,485	1,125	△360	△22	△338
						負債合計	4,655	4,953	298	△10	308
固定資産	11,060	11,689	629	△37	666	株主資本	20,756	22,899	2,143	0	2,143
有形固定資産	8,465	8,997	532	△39	571	その他の包括 利益累計額	571	613	42	19	23
無形固定資産	102	94	△8	4	△12	新株予約権 非支配株主持分	572	617	45	14	31
投資その他の 資産	2,492	2,598	106	△2	108	純資産合計	21,900	24,130	2,230	33	2,197
資産合計	26,556	29,083	2,527	23	2,504	負債・純資産 合計	26,556	29,083	2,527	23	2,504

比較キャッシュ・フロー計算書（連結）

（億円）

	2017年 3月期	2018年 3月期	増 減
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	2,908	3,327	419
税金等調整前純利益	2,421	3,403	982
法人税等の支払額	△ 628	△ 747	△ 119
減価償却費	930	1,120	190
運転資本の増減額	△ 32	△ 438	△ 406
その他	218	△ 8	△ 226
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	12	△ 2,376	△ 2,388
設備投資支出	△ 1,362	△ 1,637	△ 275
譲渡性預金ほか有価証券増減額	1,108	△ 469	△ 1,577
定期預金の増減額	302	△ 226	△ 528
その他	△ 35	△ 43	△ 8
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 371	△ 500	△ 129
借入金増減額	3	11	8
配当金支払額	△ 489	△ 533	△ 44
その他	114	21	△ 93
IV 換算差額ほか	△ 92	19	111
現金・現金同等物増減額	2,457	471	△ 1,986
現金・現金同等物残高	7,333	7,804	471
有利子負債残高	143	155	12

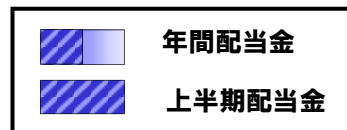


配当金の推移

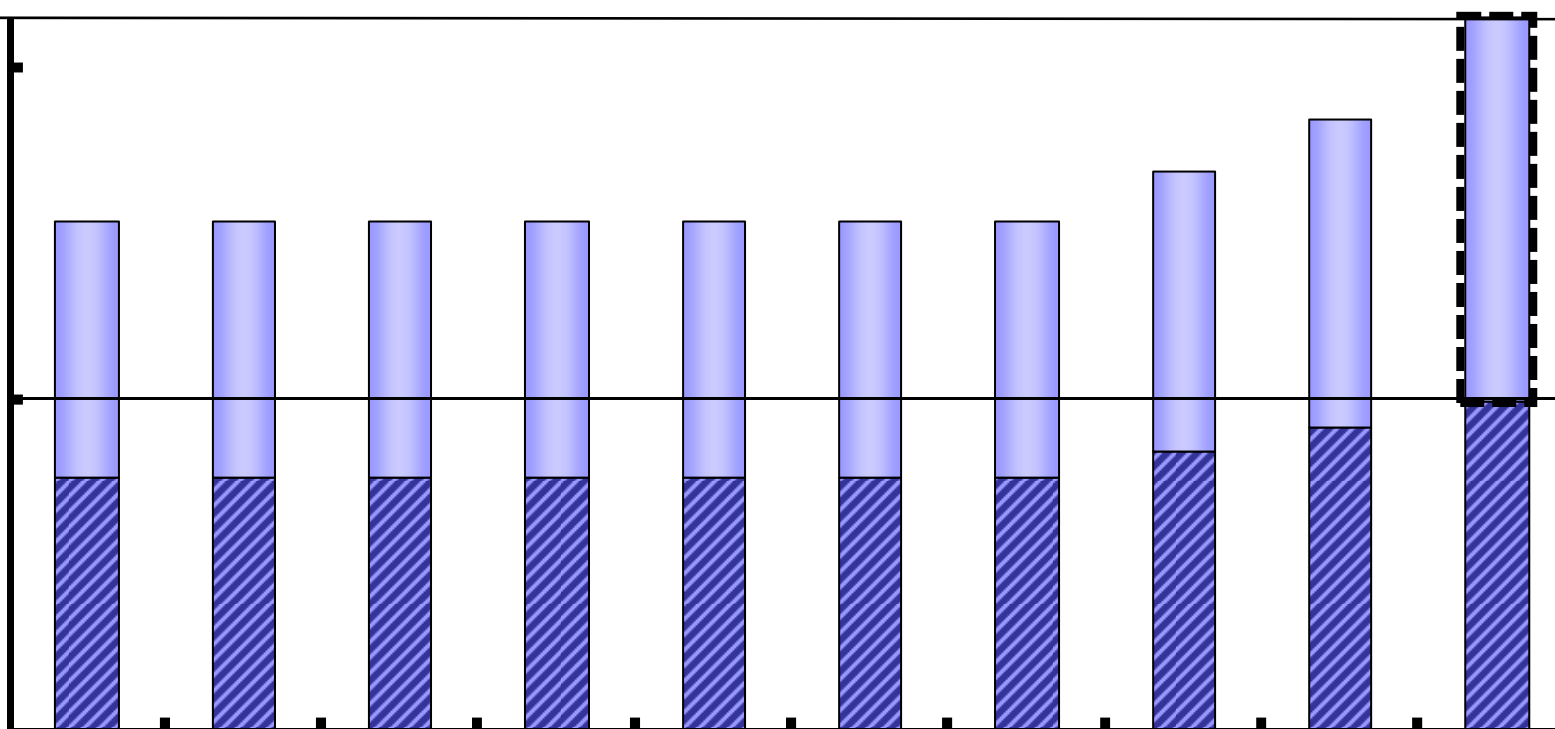
円/株

140

65



(予定)



		2009年 3月期	2010年 3月期	2011年 3月期	2012年 3月期	2013年 3月期	2014年 3月期	2015年 3月期	2016年 3月期	2017年 3月期	2018年 3月期
配当金	上半期	50円	50円	50円	50円	50円	50円	50円	55円	60円	65円
	年間	100円	100円	100円	100円	100円	100円	100円	110円	120円	※140円
1株当たり 純利益	上半期	235.0円	83.7円	146.8円	120.2円	131.2円	150.1円	158.8円	179.9円	205.3円	259.7円
	年間	362.4円	197.5円	235.8円	237.0円	248.9円	267.2円	302.0円	349.5円	412.9円	624.3円
配当性向	年間	27.6%	50.6%	42.4%	42.2%	40.2%	37.4%	33.1%	31.5%	29.1%	※22.4%

※ 予定

● ● ● | 参考データ

1) 平均為替レートの推移

		US\$ (円/\$)				EUR (円/€)					
		3カ月の トレンド (ご参考)	6ヵ月		12ヵ月		3カ月の トレンド (ご参考)	6ヵ月		12ヵ月	
			1~6月 7~12月	4~9月 10~3月	1~12月 ※	4~3月		1~6月 7~12月	4~9月 10~3月	1~12月 ※	4~3月
2016年	1~3月	115.5	111.8	105.3	108.8	108.4	127.2	124.6	118.1	120.3	118.8
	4~6月	108.1					122.0				
	7~9月	102.4	105.9	111.5		114.3	116.0	119.4			
	10~12月	109.3				117.8					
2017年	1~3月	113.6	112.4	111.1	112.2	110.9	121.1	121.6	126.3	126.7	129.7
	4~6月	111.1					122.2				
	7~9月	111.0	112.0	110.6		130.4	131.7				
	10~12月	113.0				133.0					
2018年	1~3月	108.3					133.2		133.1		

(期末日レート) 2016年12月末 116.49 2017年3月末 112.19 2016年12月末 122.70 2017年3月末 119.79
 2017年12月末 113.00 2018年3月末 106.24 2017年12月末 134.94 2018年3月末 130.52

※ 1~12月平均為替レートは海外子会社の損益を連結する際に使用しております。

● ● ● | 参考データ

2) 市場別売上高

(億円)

	日本	海外					計	連結
		米国	アジア・オセアニア		欧州	その他		
			うち、中国					
2017年3月期	28%	22%	32%	10%	11%	7%	72%	12,374
	3,420	2,750	3,924	1,236	1,358	921	8,954	
2018年3月期	26%	23%	32%	10%	11%	8%	74%	14,414
	3,738	3,357	4,581	1,383	1,621	1,116	10,676	

(注) %は連結売上高に占める割合を示しています。

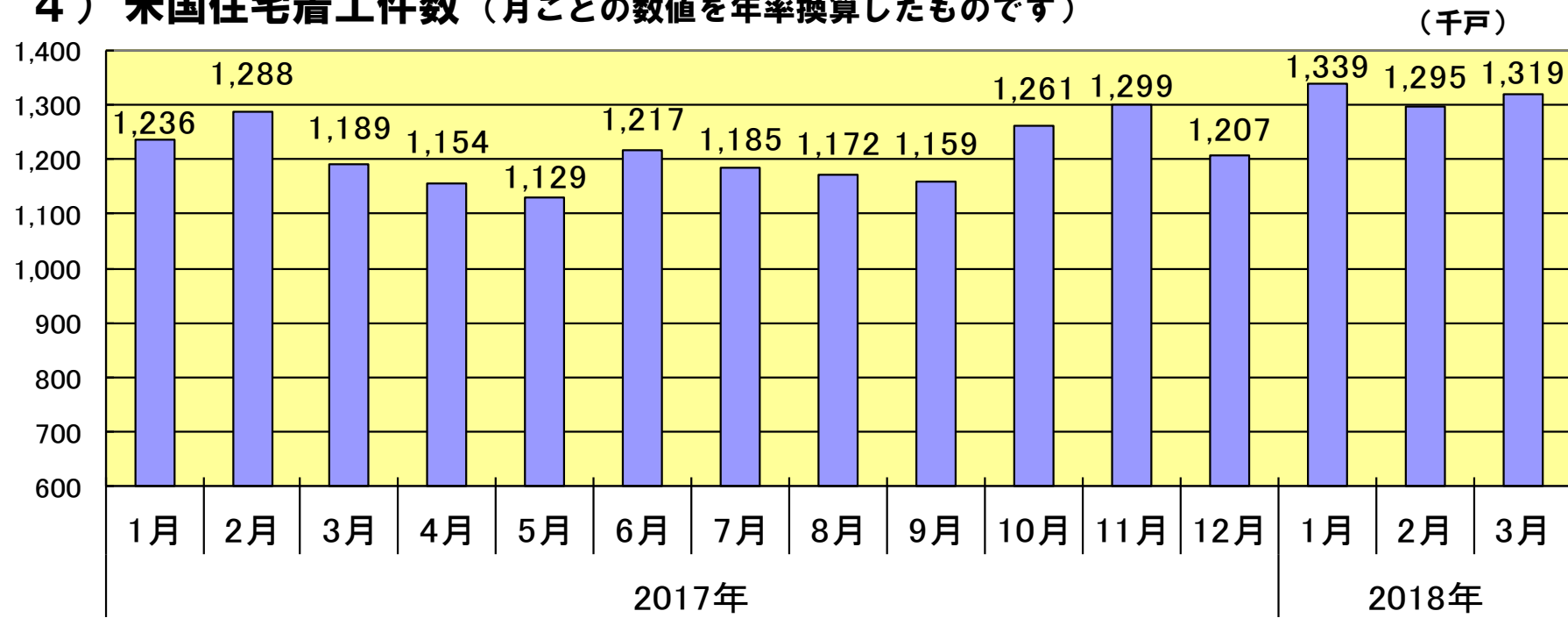
3) セグメント別資産

(億円)

	塩ビ・化成品	シリコーン	機能性化学品	半導体シリコン	電子・機能材料	加工・商事・技術サービス	全社	連結
2017年3月末	7,529	2,154	1,591	6,437	2,400	1,430	5,012	26,556
2018年3月末	8,101	2,518	1,681	7,399	2,539	1,490	5,352	29,083

● ● ● | 参考データ

4) 米国住宅着工件数 (月ごとの数値を年率換算したものです)



米国住宅の年間着工件数の推移 (過去10年)

(千戸/年)

2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
906	554	587	609	781	925	1,003	1,112	1,174	1,203

出所：米商務省

米国内塩ビ販売量 (過去10年)

(千トン/年)

2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
4,985	4,616	4,169	4,015	4,340	4,527	4,652	4,556	4,741	4,956

出所：American Chemistry Council

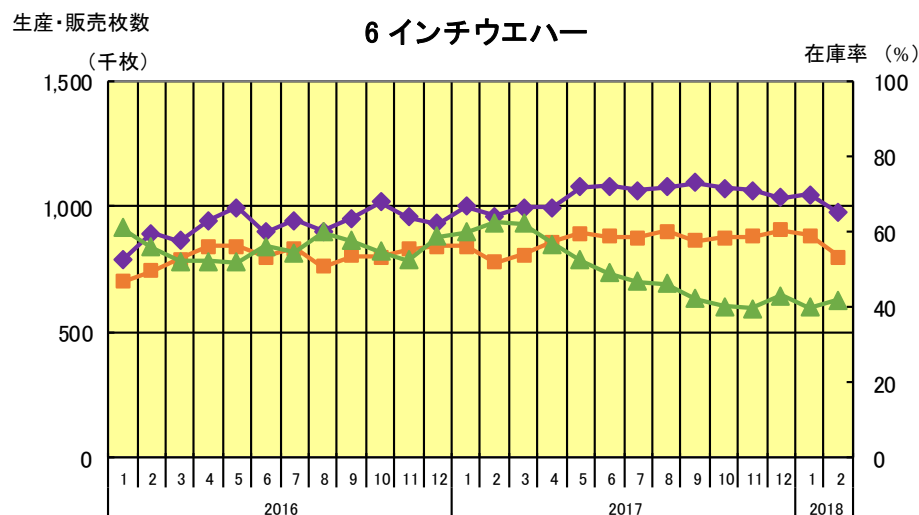
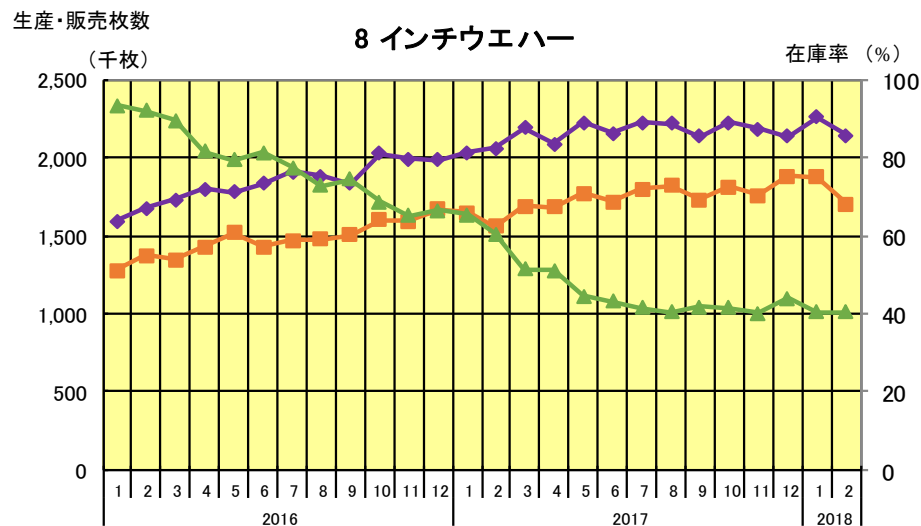
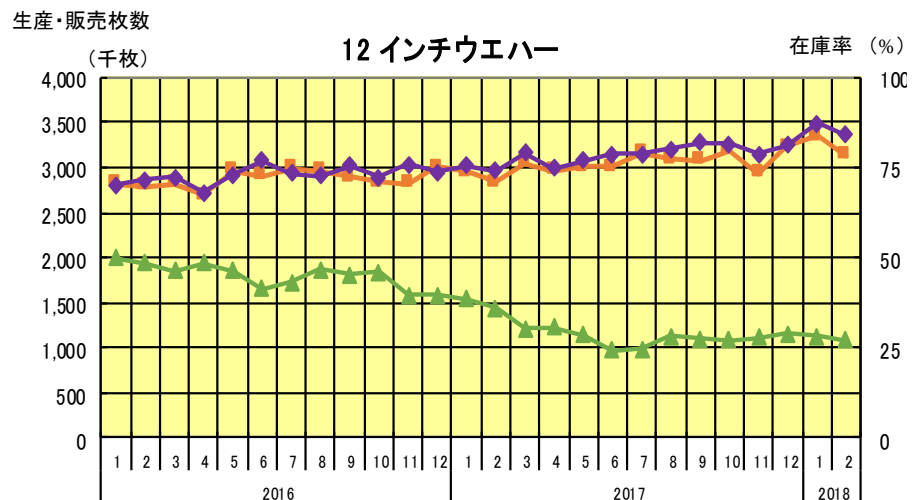
5) 国産基準ナフサ価格推移

(円/KL)

2016年度				2017年度			
4-6月	7-9月	10-12月	(2017年) 1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	(2018年) 1-3月 (見込み)
31,600	31,300	34,000	41,900	39,100	36,100	44,600	47,900

※出所:・(2016年4月～2017年12月) 財務省資料
 ・(2018年1-3月) 当社見込み

6) シリコンウエハーの口径別業界統計資料（日本国内生産分）



—■— 生産枚数(千枚) —◆— 販売枚数(千枚) —▲— 在庫率

出所：経済産業省、新金属協会

● ● ● | **参考データ**

7) トピックス (2017年4月1日 ~ 2018年4月27日)

2017年 6月 レア・アースマグネットの生産能力増強を発表 (ベトナム)

2017年 8月 シリコン各種製品の生産能力増強を発表 (アメリカ)

2017年10月 光ファイバー用プリフォームの三拠点の生産能力増強を発表 (茨城県、中国江蘇省・湖北省)

2017年10月 セルロース誘導体の二拠点の製造設備の増強を発表 (新潟県、ドイツ)

2017年11月 シリコンの値上げを発表

2017年12月 か性ソーダ (国内) の値上げを発表

2017年12月 塩化ビニル樹脂 (国内) の値上げを発表

2018年 4月 自己株式の消却を発表

★ 上記トピックスの詳細につきましては、当社ホームページをご覧ください。 <http://www.shinetsu.co.jp/jp/news/>

参考データ

8) 主な設備投資 (外部公表ベース)

★: 完成 ☆: 完成予定

会社名 (場所)	内容	投資金額	2015年		2016年		2017年		2018年		2019年	
			1H	2H	1H	2H	1H	2H	1H	2H	1H	2H
シンテック社(アメリカ)	PVC、VCMの生産能力増強	5億ドル		★ PVC	★ VCM		★ VCM					
シンテック社(アメリカ)	エチレンの工場新設	14億ドル								☆		
信越化学(群馬)	シリコン電子材料技術 研究所に新研究棟を建設	50億円			★							
信越化学(群馬、直江津)	シリコン機能製品の 生産能力増強	200億円					★	※1				
アジア・シリコンズ・モノマー社(タイ)、 シンエツ・シリコンズ・タイランド社(タイ)	シリコンの生産能力増強	200億円								☆		
信越化学(直江津)	機能性シランの工場建設	23億円								★		
信越化学(埼玉・東松山)	シリコンゴムの成形及び 加工のテクニカルセンター拡張	—					★					
シンエツ・シリコンズ・オブ・アメリカ社(ア メリカ)	シリコン製品の生産能力増 強	24億円										☆
SEタイロースUSA社(アメリカ)	セルロースの工場新設	120百万ドル		★								
信越化学(直江津) SEタイロース社(ドイツ)	セルロースの製造設備増強	200億円										☆
シンエツ マグネティック マテリアルズ ベトナム社(ベトナム)	レア・アースマグネットの 生産能力増強	50億円								☆		
信越電子材料股分有限公司(台湾)	フォトレジスト関連製品の 工場新設	130億円									☆	
長飛信越(湖北)光棒有限公司(中国)	光ファイバー用プリフォームの 工場新設	125億円				★						
信越化学(福井)	マスクブランクス工場新設	70億円				★						
信越化学(鹿島) 信越(江蘇)光棒有限公司(中国) 長飛信越(湖北)光棒有限公司(中国)	光ファイバー用プリフォームの 生産能力増強	180億円								※2 ☆	※3 ☆	

※1 2017年夏以降、順次立ち上げ ※2 鹿島 ※3 中国二拠点